



41年ぶり、武道館に「ザ・タイガース」ジュリー全国ツアー締め

岸部四郎も登場
「夢のようです」

歌手の沢田研二(63)がボーカルを務めた伝説的グループ「ザ・タイガース」が24日、東京・北の丸公園の日本武道館で「復活」した。

昨年9月にスタートした沢田の全国ツアーには、ドラムス・瞳みのる(65)、ギター・森本太郎(64)、ベース・岸部一徳(65)と当時のメンバーがゲスト参加。この日の最終公演には、岸部の弟で後期メンバーのタレント・岸部四郎(62)も特別出演した。

03年に患った脳出血の後遺症で歩行困難になった四郎は、兄に支えられて登場。ビージーズの「若葉のころ」を披露した。ザ・タイガースは71年1月24日に日本武道館で解散コンサートを行っており、ちょうど41年ぶりに同じ場所でも5人がそろった。

一夜限りの「再結成」に、四郎は「夢のようです」と感無量の様子。沢田は「これで少し元気になってくれれば」。この日は、初期メンバーでは加橋かつみ(63)だけが不参加となったが、沢田は「全員そろってのザ・タイガース。近い将来、それが実現することを願っています」と言葉に力を込めた。

▲▲ 集結した「ザ・タイガース」のメンバー(左から岸部一徳、岸部四郎、沢田研二、森本太郎、瞳みのる、カメラ・佐々木清勝)